

ネイチャーセンターだより



ヒバリ

英名 : Skylark (Common Skylark) 学名 : *Alauda arvensis*

ヒバリコースを歩いていると上空から「ぴちちゅちゅる…」とにぎやかな声が聞こえてきます。冬の間、本州で過ごしていたヒバリが、繁殖のために春国岱に戻ってきました。夏鳥の中で、一番早く北海道に渡ってきます。

繁殖期にオスが地上から飛び立ち鳴きながら一気に上昇して、空中で長く鳴き続ける姿が有名ですが、実は地上で鳴くこともあります。また、侵入者を見つけると、追い払う行動も見ることができます。

これから8月くらいまで、ヒバリが元気に飛ぶ姿を見ることができます。

6
月
の
イ
ベ
ン
ト

フィールドボランティア説明会 6月17日(日) 10:00~15:00

「風蓮湖・春国岱」で楽しみながらボランティア活動をしてみませんか？
ボランティア活動の内容や、春国岱についてレンジャーがご紹介いたします。特別な知識や、経験は必要ありません。どうぞお気軽にご参加ください。

- ・対象：高校生以上30名
- ・申込：6月10日(日)まで

お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

レンジャーの活動

油汚染鳥の調査

4 / 25、26

2006年2月27日。知床半島周辺で油にまみれた海鳥の死体が大量に発見されるという惨事がありました。この惨事を受け、「オホーツク海岸全域での漂着調査が必要」との声が強まり、「道東・道北海岸一斉調査」が実施されました。この調査をきっかけに、油流出事故発生などの緊急時だけではなく、平時のデータをしっかりと取っておくことの重要性について、理解が深まり、この「道東・道北海岸一斉調査」を続けて行くことになりました。

今年は4月25日と26日に根室半島、春国岱、走古丹の海岸で調査を行いました。今回、調査した範囲では、油が付着した個体は見つかりませんでした。しかし、いつまたあのような惨事が起こるか分からないので、今後も注意していく必要があります。

ジュニアレンジャーの活動

ネイチャーセンターの水槽が増えました！

ネイチャーセンターでは学校が休みの日などによく遊びに来てくれる子供たちを、ジュニアレンジャーとして、来館者対応や展示作成などレンジャーのお手伝いをしてもらっています。今回は、風蓮湖水族館の水槽を2つに増やすことにしたので、そのお手伝いをしてもらいました。

まず、子供たちと一緒に風蓮湖へ行き、生き物を捕まえてきました。今までの風蓮湖水族館の水槽には、カレイがいましたが、今回は新たに、ハゼ、ギンポ、ヤドカリ、カニの仲間が加わりました。

春国岱の海の生きものにぜひ会いにきてみてください！



新しく加わった生きものたちです！



ハゼ



ヤドカリ



クリガニ

ネイチャーセンターボランティアの活動

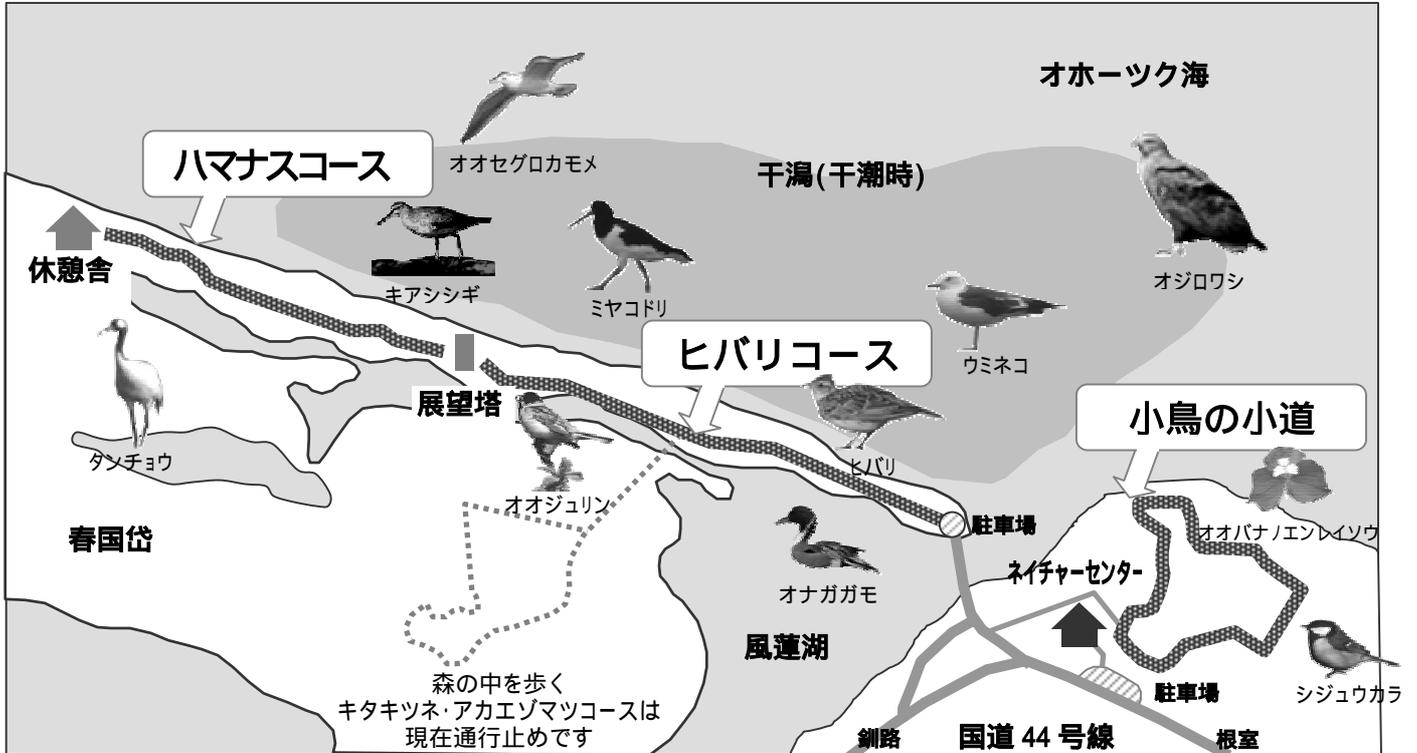
あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

ラムサール条約登録湿地で活動してみませんか？ ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。ご興味のある方はネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。

どんな活動をしているか見てみたい方は、事前に電話で連絡いただければ活動日を案内します。

5月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。
 浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。
 ネイチャーセンターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



観察路がぬかるむ場所があります
十分注意してください

～小鳥の小道～ オオジシギ



4月下旬にオーストラリアからやってきて繁殖をします。「ジャッジャッジャッジャッ」と鳴きながら、「ズババババ！」と大きな羽音を立てて急降下することから、「雷シギ」とも言われています。

～小鳥の小道～ オオバナノエンレイソウ



3枚の大きな葉っぱと白い花が印象的なユリ科の植物です。エンレイソウの仲間は、ゆっくり成長し、種子が落ちてから花が咲くまでに10数年もかかると言われています。5～6月には、道路沿いなどでも見ることができます。

～ヒバリコース～ ヒバリ

春国岱の橋までの散策路はヒバリコースという名前がついています。その名のとおりヒバリがたくさん暮らしています。高い空の上から、地上から、ヒバリの声が聞こえてきます。



～ハマナスコース、東梅岬 キョウジョシギ

春と秋の渡りの季節にやってくる、羽の模様が色鮮やかなシギの仲間です。砂浜や小石が落ちている海岸などで多く見られます。春の渡りの時には、春国岱周辺だけでなく、根室半島全域で数多く見られます。



ネイチャーセンター日記

4月16日。いつもネイチャーセンターに遊びに来てくれる子供が、「自然学習林の池でエゾアカガエルの卵を見つけたよ!」と教えてくれました。見に行くと、確かに寒天状のものがモコモコと浮かんでいました。本州に生息しているニホンアカガエルの産卵は1月~2月なので、だいたい2ヶ月遅れくらいになります。

数日後、夜に学習林の横を歩いていたら、「クワワ、クワワ」という声が聞こえてきました。今頃、池ではオスのカエルたちが、お嫁さんを捕まえるのに必死になっているんだろうなあ~。と思い、思わず「がんばれ!」と心の中で応援してしまいました。

29日にはエゾサンショウウオの卵も確認できました。



黒真珠のようにキラキラしていました

メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ: http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

ラムサールクイズ (0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限らせていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570
HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
メール nemu_nc@marimo.or.jp

5月の開館時間
9:00~17:00
5月の休館日
7~10(月~木)
16・23・30(毎週水曜日)

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター